

災害に強いまちを目指して

稲敷市地域防災計画《概要》



地域防災計画とは

地震や洪水などの自然災害や大規模な事故災害による被害を最小限におさえ、地域に生活する人々の生命、身体及び財産を守るために、日頃からの備えや、災害発生時の対応などを定めたものが地域防災計画です。

予防対策・ 日頃の備え



災害発生時の 応急対策活動



災害復旧 / 復興・ 生活再建



災害対策の基本的な考え方

災害に対する基本的な考え方は、「自助」「共助」「公助」です。

特に、「共助」においては、市民相互や市民と行政が日ごろから顔の見える関係を築き、相互の「絆」を強めておくことが基本となります。

自助

“自らの生命は自らが守る”



共助

“自分たちのまちは自分たちで守る”

公助

“行政や防災機関が行う防災活動”

災害の種類

地震災害



茨城県の地震被害想定によれば、7つの地震が想定されています。そのうち、太平洋プレート内の地震（南部）Mw7.5では、稲敷市内で最大震度6強と想定されており、発生した場合には、家屋の倒壊、液状化等による大きな被害をもたらすおそれがあります。

■市内で想定される被害「太平洋プレート内の地震（南部）」

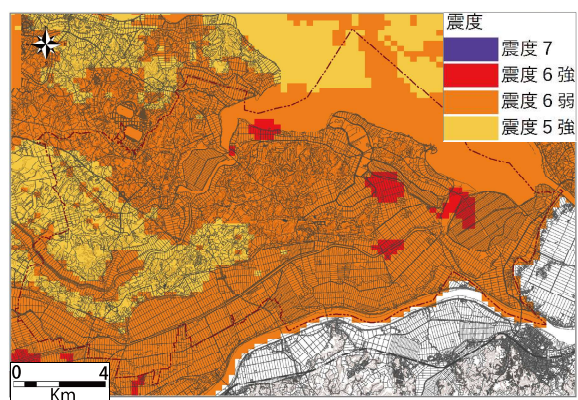
建物被害

全壊・焼失	半壊
272 棟	2,133 棟

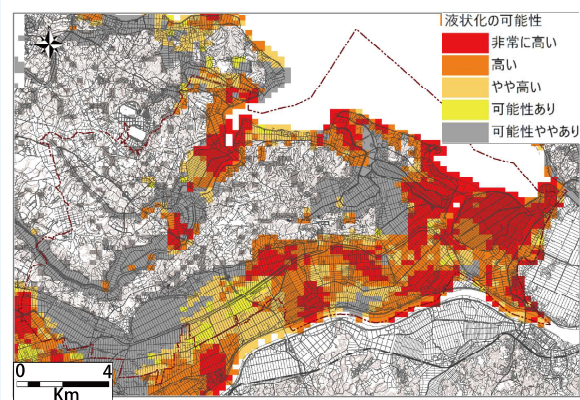
人的被害

死者	負傷者	重傷者
12 人	251 人	15 人

太平洋プレート内地震（南部）での地表震度



太平洋プレート内地震（南部）での液状化の可能性



風水害



市では、国が管理する利根川、霞ヶ浦、小貝川の洪水浸水想定区域を示した洪水ハザードマップを作成し、市HPに掲載しています。市内で最大5m以上の浸水が想定されています。

また、市には茨城県が管理する7つの中小河川の洪水浸水想定区域が指定されており、市HPで確認することができます。

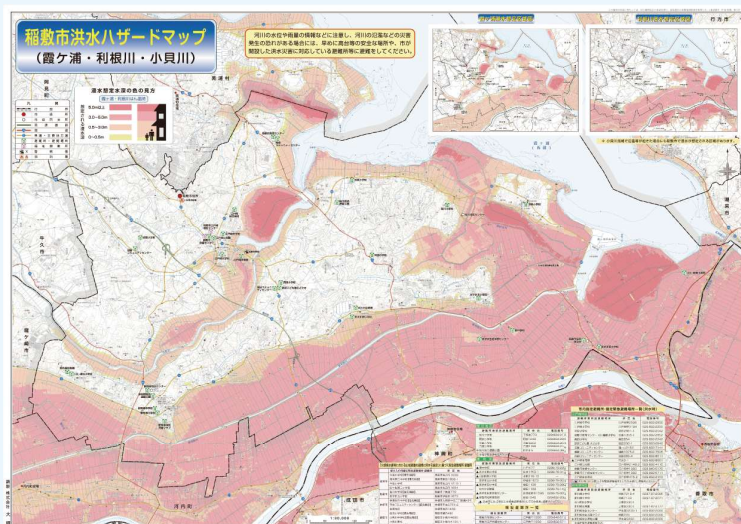


稲敷市 HP
洪水ハザードマップ

【県管理河川】

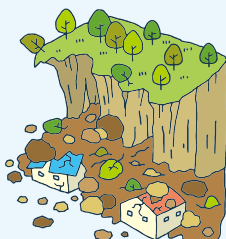
- ・小野川
- ・沼里川
- ・破竹川
- ・谷田川(牛久沼)
- ・新利根川
- ・乙戸川
- ・大正堀川

稲敷市洪水ハザードマップ



土砂災害

市では、土砂災害警戒区域が61箇所分布しており、大雨等による土砂災害が発生するおそれがあります。



稲敷市 HP
土砂災害ハザードマップ

その他災害等

- ・航空災害
- ・道路災害
- ・危険物等災害
- ・放射線物質事故
- ・大規模な火災

お住まいの耐震化をしよう！



避難所と安全な避難路を確認しよう！



備蓄・非常持出品を事前準備しよう！



地域のコミュニケーション、避難訓練に参加しよう！



▶ 非常持出品と備蓄品

「非常持出品」とは、数日間を生き延びることを考え、災害発生時に急いで避難するときに最低限持ち出すもののことを言います。一方、「備蓄品」とは、避難生活に備えて各家庭で家や倉庫に蓄えておくもののことを言います。

非常持出品の中身

個人で必要な情報

- ☐ 健康保険証、運転免許証
- ☐ おくすり手帳
- ☐ マイナンバーカード

いざという時の備え

- ☐ 食料
- ☐ 飲料水
- ☐ 笛、防犯ブザー

状況を把握するため

- ☐ 充電式ラジオ
- ☐ 筆記用具

速やかな避難のため

- ☐ 懐中電灯、電池
- ☐ 軍手
- ☐ レインコート

なければ困るもの・いざという時の備え

- ☐ 現金
- ☐ 常備薬
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ タオル、下着類
- ☐ 毛布・寝袋
- ☐ ウェットティッシュ、除菌シート
- ☐ マスク
- ☐ メガネ・コンタクト
- ☐ 衛生用品、生理用品
- ☐ カイロ
- ☐ ライター
- ☐ 充電器
- ☐ 防災用ヘルメット等
- ☐ 救急用品

家族で話し合って用意しよう！



家族構成にあわせた中身

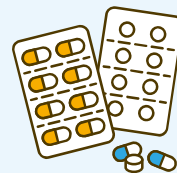
乳幼児

- ☐ 離乳食
- ☐ 粉ミルク
- ☐ 加熱調理器具
- ☐ 消毒用品
- ☐ 紙おむつ



高齢者や疾患のある方

- ☐ 主治医連絡先
- ☐ 持病メモ
- ☐ 持病薬



備蓄品

地震にも備えて
7日分は用意しよう！

- | | |
|--|----------------------------------|
| ☐ 水(1人一日3リットル) | ☐ 簡易トイレ |
| ☐ カセットコンロ | ☐ 液体歯磨き |
| ☐ カセットガス | ☐ ウェットタオル |
| ☐ 缶切り | ☐ 抗菌・消臭剤 |
| ☐ 毛布 | ☐ 救急セット |
| ☐ ろうそく | |
| ☐ 食料
(缶詰・レトルト食品・お菓子) | |

非常持出袋の重さの目安

男性:15kg 女性:10kg



大地震が発生した時の行動

① 地震発生～避難開始まで



台風や大雨時の行動

① 防災気象情報の確認

・気象庁 HP、都道府県や市町村、テレビ・ラジオ、キキクル等で防災気象情報を確認しましょう。

② 避難情報が出たら

・警戒レベルに沿った行動をとりましょう。

③ 指定避難所

指定緊急避難場所へ避難

◆指定避難所・指定緊急避難場所に避難する時間がない場合

緊急的に高い建物や上階に避難しましょう。

高齢者等避難

避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児など）とその支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

警戒レベル
3

避難指示

速やかに避難先へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

警戒レベル
4

《警戒レベル4までに必ず避難》

緊急安全確保

災害が発生又は切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。

警戒レベル
5

指定避難所
指定緊急避難場所を
確認しておこう！



稲敷市 HP
避難所一覧



稲敷いなすけ

避難所での生活

円滑な避難所運営に協力しましょう！

- ・周囲への声かけや手伝い
- ・避難所の掃除
- ・物資の仕分け
- ・感染症対策（施設の消毒）など
- ・避難者の受付
- ・避難所の見回り
- ・食事の配膳